



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月13日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東  
 コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 柴田 史郎 (TEL) 0467-61-3399  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	4,200	38.8	293	—	299	—	189	—
2019年12月期第2四半期	3,025	5.5	△280	—	△306	—	△243	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 129百万円(—%) 2019年12月期第2四半期 △251百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	12.49	12.39
2019年12月期第2四半期	△16.09	—

(注) 2019年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	5,679	2,214	37.7
2019年12月期	5,682	2,060	35.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 2,140百万円 2019年12月期 1,986百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	3.90	3.90

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	20.6	500	—	460	—	370	—	24.37

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 第2四半期(累計)の業績予想は行っていません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	15,179,500株	2019年12月期	15,157,200株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	164株	2019年12月期	164株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	15,170,635株	2019年12月期2Q	15,144,222株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会経済活動が大きく制限された影響により、極めて厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言後に減少に向かった新規感染者数は、7月以降再び増加傾向にあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境としまして、2018年のスマートフォン保有率が前年比4.1%ポイント上昇の79.2%となり、モバイルでのインターネット環境は引き続き発展を続けております(出所：総務省「令和元年版情報通信白書」)。当社が注力するインターネット広告市場についても、2019年の市場規模は前年比14.8%増の1兆6,630億円となり、2020年は1兆8,459億円へ拡大することが見込まれております(出所：電通「2019 日本の広告」)。また、スマートフォンゲームの市場規模は2017年に初めて1兆円に到達し、2019年は前年比4.9%増の1兆1,380億円と、安定的な成長が見込まれております(出所：矢野経済研究所「2019-2020スマホゲームの市場動向と企業分析」)。

このような事業環境の中で、当社グループはより多くのユーザーに楽しんでいただけるよう良質なデジタルコンテンツを提供し続けております。その中でも、クライアントワーク、ゲーム、ゲームコミュニティ、ちいき資本主義の4つを主要サービスと位置づけ、相互にシナジーを図りながら事業を進めてまいりました。また、その他サービスとして、SNSプライダルプラットフォームなどの新規サービスの開発及び投資を行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,200,774千円(前年同期比38.8%増)、営業利益は293,797千円(前年同期は営業損失280,619千円)、経常利益は299,579千円(前年同期は経常損失306,657千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は189,465千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失243,600千円)となりました。当社グループの事業セグメントは単一セグメントではありますが、サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

## ① クライアントワーク

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件が増加傾向にあります。また、当社の企画力、技術力をもとにクライアントの新製品開発を支援する領域にも進出しております。この結果、クライアントワーク関連の売上高は、977,248千円(前年同期比3.4%減)となりました。

## ② ゲーム

「ぼくらの甲子園!ポケット」、「キン肉マン マッスルショット」、ハイパーカジュアルゲームの「Park Master」が売上高の大部分を占めています。2019年4月にリリースした「進撃の巨人 TACTICS」は当初の想定よりも弱含みで推移したことから2020年8月31日に全てのサービスを終了することとしました。一方、「Park Master」のダウンロード数は全世界で5,000万を超え、好調に推移しております。(株)カヤックアキバスタジオでの受託ゲーム開発も拡大基調にあります。この結果ゲーム関連の売上高は、2,010,716千円(前年同期比79.9%増)となりました。

## ③ ゲームコミュニティ

ゲームファンに向けた一連のコミュニティサービスを展開しています。ウェルプレイド(株)のesports事業、スマートフォンゲームに特化したコミュニティの「Lobi」、トーナメントプラットフォームの「Toname1(トナメル)」が売上高の大部分を占めております。当第2四半期連結累計期間におけるToname1の大会開催数は前四半期比231%増の1,722件となり、過去最高を更新しました。この結果、ゲームコミュニティ関連の売上高は、699,618千円(前年同期比44.1%増)となりました。

## ④ ちいき資本主義

地方公共団体や地域企業に対して、まちづくりに関するコンテンツの開発とサービスの提供を行っております。移住プラットフォームサービスの「SMOUT」、通貨コミュニティサービスの「まちのコイン」、地域プロモーションの受託、鎌倉市内で展開するまちづくり事業などのサービスが売上高の大部分を占めております。この結果、ちいき資本主義関連の売上高は、166,320千円(前年同期比280.9%増)となりました。

## ⑤ その他サービス

プライダルプラットフォーム「プラコレWedding」は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響から売上が低迷しております。同様に、子会社で展開する不動産やマリンスポーツなどのサービスも軟調に推移しました。この結果、その他サービス関連の売上高は、346,870千円(前年同期比5.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,784千円減少し、5,679,952千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加457,540千円、受取手形及び売掛金の減少257,905千円、投資有価証券の減少70,259千円であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ156,994千円減少し、3,465,152千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少247,572千円であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ154,209千円増加し、2,214,800千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加207,445千円、その他有価証券評価差額金の減少60,645千円であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ457,516千円増加し、1,713,608千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは735,259千円の収入（前年同期間は3,424千円の支出）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益299,579千円の計上、売上債権の減少257,905千円、未払金の増加110,016千円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは36,938千円の支出（前年同期間は8,219千円の支出）となりました。これは、無形固定資産の取得による支出43,372千円等の減少等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは240,804千円の支出（前年同期間は349,331千円の収入）となりました。これは、長期借入れによる収入71,000千円等の増加要因があった一方で、長期借入金の返済による支出318,572千円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2020年2月13日公表の「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2020年8月13日)公表いたしました「2020年12月期 通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,256,044	1,713,585
受取手形及び売掛金	1,452,615	1,194,710
仕掛品	152,613	175,489
その他	250,639	158,094
貸倒引当金	△41,086	△41,086
流動資産合計	3,070,826	3,200,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	914,054	891,910
土地	690,478	690,478
その他(純額)	76,998	64,829
有形固定資産合計	1,681,532	1,647,218
無形固定資産		
のれん	195,505	170,734
その他	212,624	234,384
無形固定資産合計	408,130	405,118
投資その他の資産		
投資有価証券	299,384	229,125
その他	232,853	207,686
貸倒引当金	△9,989	△9,989
投資その他の資産合計	522,248	426,821
固定資産合計	2,611,910	2,479,159
資産合計	5,682,737	5,679,952
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	300,190	236,945
短期借入金	110,000	107,500
1年内返済予定の長期借入金	599,716	599,716
未払金	208,279	318,178
未払費用	231,178	204,120
未払法人税等	31,228	73,120
その他	210,111	236,086
流動負債合計	1,690,703	1,775,667
固定負債		
長期借入金	1,907,915	1,660,343
その他	23,528	29,141
固定負債合計	1,931,443	1,689,484
負債合計	3,622,146	3,465,152

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,732	519,579
資本剰余金	462,073	465,919
利益剰余金	925,672	1,133,118
自己株式	△208	△208
株主資本合計	1,903,269	2,118,409
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,964	22,319
その他の包括利益累計額合計	82,964	22,319
新株予約権	48,067	48,069
非支配株主持分	26,288	26,003
純資産合計	2,060,591	2,214,800
負債純資産合計	5,682,737	5,679,952

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,025,985	4,200,774
売上原価	2,454,420	2,395,663
売上総利益	571,564	1,805,110
販売費及び一般管理費	852,183	1,511,313
営業利益又は営業損失(△)	△280,619	293,797
営業外収益		
受取利息	206	511
受取配当金	1,177	204
補助金収入	500	—
助成金収入	1,440	12,000
投資有価証券売却益	—	2,100
その他	664	8,431
営業外収益合計	3,988	23,247
営業外費用		
支払利息	1,448	3,370
持分法による投資損失	6,234	5,326
投資有価証券評価損	21,000	—
為替差損	1,307	8,711
その他	36	57
営業外費用合計	30,026	17,465
経常利益又は経常損失(△)	△306,657	299,579
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△306,657	299,579
法人税、住民税及び事業税	4,368	57,974
法人税等調整額	△58,893	51,303
法人税等合計	△54,525	109,277
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△252,132	190,301
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,531	836
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失(△)	△243,600	189,465

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△252,132	190,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	738	△60,645
その他の包括利益合計	738	△60,645
四半期包括利益	△251,393	129,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△242,862	128,819
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,531	836

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△306,657	299,579
減価償却費	64,750	68,350
のれん償却額	24,961	27,649
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,341	—
受取利息	△206	△511
受取配当金	△1,177	△204
補助金収入	△500	—
助成金収入	△1,440	△12,000
支払利息	1,448	3,370
持分法による投資損益(△は益)	6,234	5,326
投資有価証券評価損益(△は益)	21,000	△2,100
売上債権の増減額(△は増加)	203,650	257,905
たな卸資産の増減額(△は増加)	△117,878	△29,086
仕入債務の増減額(△は減少)	△107,760	△63,245
未払金の増減額(△は減少)	△11,073	110,016
未払費用の増減額(△は減少)	27,908	△27,057
その他	99,379	106,914
小計	△90,018	744,905
利息及び配当金の受取額	1,383	716
利息の支払額	△1,448	△3,370
法人税等の還付額	91,141	—
法人税等の支払額	△8,721	△18,992
補助金の受取額	500	—
助成金の受取額	3,740	12,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,424	735,259
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△97,651	△5,852
無形固定資産の取得による支出	△49,296	△43,372
投資有価証券の取得による支出	△14,846	—
投資有価証券の売却による収入	—	2,100
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,206
敷金及び保証金の回収による収入	146,107	2,392
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	101	—
その他	7,366	10,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,219	△36,938
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	1,500
短期借入金の返済による支出	△12,030	△4,000
長期借入れによる収入	500,000	71,000
長期借入金の返済による支出	△219,330	△318,572
新株予約権の行使による株式の発行による収入	10,695	7,693
配当金の支払額	△30,003	△23
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△4,000
その他	—	5,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	349,331	△240,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	337,687	457,516
現金及び現金同等物の期首残高	973,040	1,256,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,310,727	1,713,608

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。